



「クリーニングドクターの豆知識」その17

誰も教えてくれない柔軟剤のこと⑤

今まで、柔軟剤のデメリットや

柔軟剤なしで衣類をふんわりさせる方法を

伝えてきました。今回のテーマは「芳香柔軟剤を考える」です。

今回ちよびっとクールな口調ですが、そこは楽しんでくださいね♪

◆ 芳香柔軟剤【人気～訴訟】

ここ5年くらいでしょうか。「ダウニー」に代表される、香りが長く残る「高残香」タイプの柔軟剤が人気です。CMでもさかんに宣伝していますし、売り上げも増えているそうです。

一方で、その臭いが原因で頭痛や吐き気といった体調不良を訴える人が増加しているのも事実です。国民生活センターへの苦情はもちろん、隣家の柔軟剤の臭いに困り果て、引っ越しを余儀なくされたり、訴訟に発展した例もあるそうです。公害ならぬ「香害」という言葉も目にします。

興味のある方は「柔軟剤　臭い」等のキーワードで調べてみてください。

◆ 芳香柔軟剤【当店の場合】

匂いには好みがあります。我々が良い匂いと思っても、お客様にとっては嫌な臭いかもしれません。次に、衣類に匂いをつけてしまうと、香水を使う女性の場合は匂いがバッティングするという問題が発生します。当店では一部の衣類にしか柔軟剤は使っていません。ましてや匂いのついたものは、今までも今後も使用することは一切ありません。それが当店の方針です。



◆ 芳香柔軟剤【結局は体に悪い】

柔軟剤の油脂が酸化すると体に悪いことは、このシリーズで最初に説明しました。

油脂に加え、臭いの成分まで衣類に残留させると・・・結果は言わずとも分かりますね。

自分で調べてみたい方は「第4級アンモニウム塩」で検索してみてください。知りたくない事実を知ることができるでしょう・笑

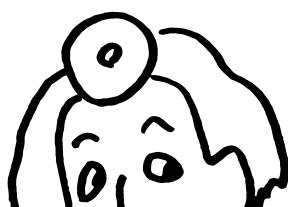
◆ 芳香柔軟剤【ではファブリーズは？】

ついでに触れておきます。ファブリーズに代表される除菌・消臭剤も実は「第4級アンモニウム塩」という化学物質が主成分です。結局もとは同じなので、起こる問題もほとんど同じと思ってください。

◆ 結論のようなもの

さて、一通りの問題提起はしたつもりです。あとはご自身で調べて、ご自身で判断してください。

例えば、CMだけで商品を選ぶのか、それとも今まで述べたような事実を理解してから選ぶのか、という問題があります。私の本音は「好きにすれば？」です。でも当店を信頼し、利用していただく方には大切な情報は今後も発信していきます。というわけで柔軟剤の話は最後にもう一回続けます。



古川クリーニング 0985-22-7808